

平成31年4月25日
林野庁近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所

平成31年度 奈良森林管理事務所 重点取組事項の公表について

奈良森林管理事務所では、公益重視の管理経営の一層の推進、林業の成長産業化に向けた貢献、国民の森林としての管理経営に向けて、その有する組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者とも連携を図りつつ、木材の安定供給、路網の整備、林業の低コスト化等に向けた各般の取組を積極的に進めております。

このたび、平成31年度の重点取組事項に関する資料をとりまとめましたので、公表します。

なお、近畿中国森林管理局の重点取組事項は局ホームページに掲載しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/kiaku/190425.html>

【問い合わせ先】
林野庁近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所
担当者：調整官 今井
電話：050-3160-6150
FAX：0742-53-1502



林野庁



平成31年度 奈良森林管理事務所重点取組 ～国民の森林「国有林」～

奈良森林管理事務所は、公益重視の管理経営の一層の推進及び林業の成長産業化への貢献に向けて、民有林と密接な連携を図り、これまで以上に計画的かつ効率的な森林整備に努めます。さらに、平成23年の紀伊半島大水害に係る災害復旧事業を着実に実施し、地域から信頼され、国民の幅広い理解と支援を得られるよう治山対策に積極的に取り組みます。

1 公益重視の管理経営の一層の推進

国土の保全、地球温暖化防止及び生物多様性の保全等公益的機能の維持増進を旨として、森林整備事業や治山事業の計画的かつ効率的な実施、保護林制度による原生的な森林生態系の保全・管理など、公益林としての管理経営を適切に推進します。

○治山対策の推進

◆国民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、効率的かつ効果的な治山対策に取り組みます。

特に、平成23年の紀伊半島大水害からの早期復旧に向けて、奈良県からの要請を踏まえ、地域の安全・安心を確保するため、十津川村、五條市、野迫川村、天川村において、民有林直轄治山事業を着実に推進します。



(坪内地区:天川村)

○間伐等森林整備の着実な実施

◆森林吸収源対策の算入上限値3.5%を確保するため、引き続き、間伐等の森林整備を着実に実施するとともに、国土の保全、水源の涵養、生活環境の保全等に資するため、本数調整伐等保安林の整備を適切に実施します。

また、平成29年度から実施している民間競争入札（市場化テスト）による森林整備事業を引き続き実施し、効率的な間伐・路網整備及び事業体の育成等に取り組みます。



(森林作業道の作設状況 桧股国有林:野迫川村)

2 林業の成長産業化に向けた貢献

林業の成長産業化への貢献に向けて、国有林の組織、技術力、資源を活用し、林業における新たな低コスト技術等の実証・普及、民有林と連携した森林整備、森林・林業技術者等の育成、林産物の安定供給等を通じて、民有林経営に対する支援等に積極的に取り組みます。

○民国連携による森林共同施業団地の取組

◆地域林業の低コスト化・効率化に向けて、森林整備推進協定の締結や森林共同施業団地の設定による民有林との連携を通じて、民有林と国有林が一体となった路網の整備や効率的な間伐の実施等に取り組みます。

当所においては、平成25年度に「野迫川村桧股地区森林共同施業団地」、平成28年度に「十津川村森林整備推進協定」を締結しており、森林共同施業団地等を活用し、新たな低コスト技術の実証や低コスト化・効率化に資する施業技術の普及・定着に取り組みます。



(森林共同施業団地連絡調整会議:野迫川村)

○林産物の安定供給への取組

◆公益的機能の維持増進のための適切な森林施業の結果得られる木材を計画的、安定的に供給するとともに、安定供給システム販売による木質バイオマス等の原材料の供給やコンテナ苗の普及などにも取り組みます。また、治山・林道施設の作設等に当たっては、間伐材等を積極的に利用するなど、木材利用の促進に取り組みます。



(間伐(活用型)事業)伯母子国有林:野迫川村

3 国民の森林としての管理経営

国有林野を「国民の森林(もり)」として位置づけ、林業の成長産業化に向けた貢献等の新たな政策課題を踏まえつつ、国民に関かれた管理経営を推進します。

多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識・技術を備えた人材等を活用しつつ、地域からの要請に機動的・弾力的に対応し、森林とのふれあいの場の提供、木の文化継承へ貢献するための取組、森林環境教育等を推進します。

また、優れた自然景観を有する「レクリエーションの森」を活用した地域振興にも積極的に取り組みます。

○木の文化継承への貢献

◆歴史的木造建造物の修復用資材の供給に寄与するため、地獄谷国有林及び野山国有林に「古事の森」を設定し、木の文化を支える森林づくりを推進しています。

「古事の森育成協議会」主催による森林と木の文化との関わり的重要性等を普及啓発するイベントの実施や、祭祀用資材の供給体制の整備など、木の文化の継承に貢献する活動に取り組みます。



(春日奥山古事の森シンポジウム)



(校木(あぜぎ)づくり体験:東大寺)

○大亀谷国有林を地域の森に！

◆大亀谷国有林周辺の住民やボランティア団体等で構成する「大亀谷国有林管理運営協議会」において、地域のニーズ等を把握のうえ、森林整備の方法や活用の方策等を検討し、地域の要請に応じた森づくりや地域貢献活動を実施します。

○森林環境教育の推進

◆大亀谷国有林「遊々の森」の協定者である「ひかり幼稚園」と「赤膚ネイチャークラブ」が連携し、効果的な活動が展開できるよう支援します。

また、教育関係機関等からの要請に基づく講師派遣や国有林のフィールドを活用した森林環境教育等に取り組みます。



(森の幼稚園ひかり)



(西の京高校生徒によるフリスビーゲーム)

大亀谷国有林:奈良市

○レクリエーションの森を活用した地域振興

◆林野庁では、新たな国有林野の観光資源としての活用方策として、全国の「レクリエーションの森」のうち、魅力的な自然景観等を有し、特にみなさまに訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として93箇所を選定し、重点的に情報発信や環境整備等に取り組むこととしています。

当所では、高取山風景林と大和三山風景林の2つが選定され、協議会を始めとする関係機関と連携して、歩道等の施設整備などに取り組みます。



(高取山風景林)
高取山国有林:高取町



(大和三山風景林)
耳成山国有林:橿原市